

Nutrition Support Times



「サテライトチーム」への想い

サテライトチームの船出に当たり、チェアマンから各職種への“想い”をいただきましたので掲載します。

このほど、サテライトチームを皆さんにお願いして稼働していただくこととなりました。みなさん、きっと一番身近で栄養状態が気になっている患者さんがおられると思います。そういった患者さんをチェックして、栄養療法として介入が必要だと判断されたら、NST コアチームに教えていただけるだけでもかまいません。ただ、簡単に介入していただけるならばサテライトチームで介入していただき、難しくなれば NST コアチームとともに考えていく、そういったチームを考えています。この体制は、NST の拡大を図ると言うよりは、栄養療法のより広い範囲への浸透、底上げを目指すものです。勉強会に出ているだけ、患者さんのことをいつもの立場から診察、観察しているだけでは栄養に関してレベルアップしていくわけではないこと、そのためには実践が必要なのは皆さんご存じだと思います。NST サテライトチームは、身近な患者さんについて問題意識をもち、多職種で話し合っていたり、介入することを通じて、身近な患者さんの改善、および自身自身の栄養療法への理解、知識のレベルアップを図っていくものです。そして、そのためには各職種に期待された役割および仕事があるかと思ひます。



以下に各職種の方々へご提案があります。
NST リンクナースの方々へ・・・患者さんおよび問題点の拾い上げをお願いします。病棟の最前線に立ておられるナースの方々こそ、「この患者さん、栄養状態大丈夫かな？」と普段から感じておられると思います。これから、そう感じたときに病棟のサテライトチームに相談しましょう。病棟のチームですし、医師もよくその病棟におられる方々にお願いしていますので、気軽に声をかけられます。患者さんの拾い上げからすべては始まります。そして、その患者さんの問題点を背景まで含めて把握できるのはナースです。リンクナースの方々、よろしく願ひいたします。サテライトチームで話し合い、必要と判断された場合、とりえず主治医にアドバイスし、同意を得られましたらそのままフォローしていきましょう。難しい場合はコアチームに相談してください。一緒に考えていきましょう。

管理栄養士の方々へ・・・栄養療法のプランニングをお願いします。サテライトチームは稼働し出したばかりです。医師、ナースともに慣れない方々が多いのは当たり前です。しかし管理栄養士こそは栄養療法のエキスパートとして、普段から NST コアチームでも活躍しているはず。サテライトチームでは自分たちが主導権を持って栄養療法の提案を行っていきましょう。また、各病棟の栄養療法の責任を持つつもりで病棟全体にも目を向けて行ってください。問題があったらコアチームに伝えるだけでもかまいません。ただ、自分だったらこうするとプランを考えていくという姿勢が大事です。今後管理栄養士も専門性を持つ必要があります。今回のサテライトチームはその端緒としてください。

薬剤師の方々へ・・・静脈栄養の提案、また薬物的介入、合併症のチェックをお願いします。静脈栄養における重要性もさることながら、経腸栄養を実現するためにまた下痢の改善、必要な薬物、また簡易懸濁など、様々な側面からのサポートが要求されます。見落としがちな薬剤の副作用など、チェックしていただきたいです。各病棟の担当薬剤師に可能な限り参加していただく形をお願いします。

臨床検査技師の方々へ・・・現状では参加は難しいと書いております。可能になりましたら専門性を生かし、またその職種の中でも栄養療法の専門家としての技量を発揮していただきたいと思ひます。

・・・検査結果の解釈、また新たな検査の提案、他の検査の把握など、様々な点でその知識を發揮していただきたいと思ひます。こちらは各病棟に担当の方を置く、人的余裕が厳しいとのことですので、メールリクエストで質問させていただく形がいいかと思ひます。

医師・リーダー、また主治医とのネゴシエーターとしてがんばってください。

言うまでもなく病態把握、そして現状での最善の栄養療法の最終的な選択、そして主治医との交渉が仕事かと思ひます。また今後栄養療法を体得することは今後の医師人生において実にプラスになることを約束する。是非今後、各病態での栄養療法に病院中でもっとも詳しいのは自分であると言い切れるほどになっていただきたいと思ひます。また、各病態での栄養療法の改善のため、是非 NCM 講演会において各診療科での新しい栄養療法、若しくは基本的だが意外と知られていない栄養療法などを解説し、それを院内全体で共有していただきたいです。

当然ながら、サテライトチームが成功するかどうかは各職種のチームワーク次第です。初期は慣れないために、まごつくこともあるかと思ひますが徐々にお互いわかり合って行くにつれてスムーズに栄養療法を提供できるようになっていくことでしょ。

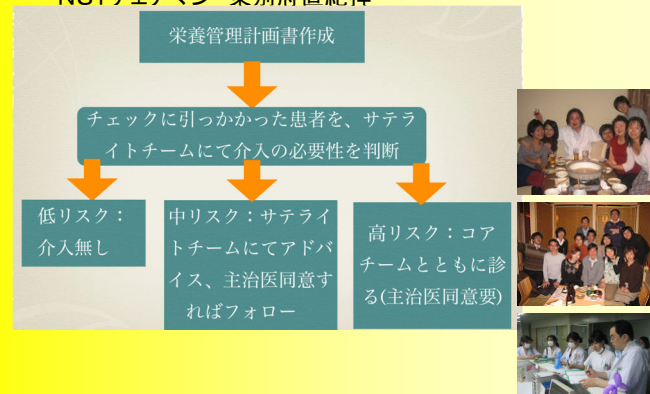
サテライトチームはメンバーが少ない分、集まる日を変えたり、自然に病棟で顔を合わせることも多いと思われれます。そしてより通常の病棟管理に近い形で NST ラウンドができると思われれます。

本来 NST が常に病棟にすることが理想と私は考えています。以前に、ある集中治療医かつ NST 医師が、本来各患者に NST がつくべきであると仰っていました。私も同意します。ただ現状では不可能ですので、各病棟に NST をという現実的な目標から取り組んでいきます。

わたくしはそろそろ NST マニュアルを更新し、よりアップデートできたものを提供していきたいと考えております。そしてそれを院内で共有し、各医師が自学自習し、気軽にサテライトチームに相談し、難しいと思つたものは本体にさらに相談するという形が理想と考えています。

サテライトチーム、コアチームという二段構えのこの形が、各医師、ナース、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師の能力を高め、迅速に栄養療法を提供していけることにより患者さんにも最大限の利益を与えられると考えています。是非協力して、栄養療法後進国と揶揄されない神戸市立医療センター中央市民病院を実現していきましょう。

NST チェアマン 東別府直紀 拝



NCM 講演会予定

月日	内容	担当
11/24	口腔ケアの重要性について	上原先生 東別府先生
H23/1/12	静脈栄養について	井上善文先生

NSTカンファレンス・回診

毎週水曜日 pm1:00～ 3階会議室 4